

### 第4回定例会の主な日程

#### 平成24年第4回定例会県議会は、次の会期日程で開催されました。

- 12月6日(木) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
- 12月11日(火) 本会 議 (12日(水) 一般質問・質疑)
- 12月13日(木) 常任委員会 議 (14日(金))
- 12月17日(月) 調査特別委員会 議
- 12月18日(火) 決算特別委員会 議
- 12月21日(金) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

### ●質問者

- 12月11日(火) 本澤 徹 (いばらき自民党)
- 横山 忠市 (いばらき自民党)
- 西野 一 (いばらき自民党)
- 佐藤 光雄 (民主 党)
- 12月12日(水) 星田 弘司 (いばらき自民党)
- 川口 和之 (無 所 属)
- 伊沢 勝徳 (いばらき自民党)

## 一般質問(要旨)



議員 本澤 徹  
いばらき自民党 市選出 一括方式

### 茨城マルシェの魅力ある店舗への発展策

**議員** 新たに銀座にオープンした県のアンテナショップ「茨城マルシェ」をより魅力ある店舗に発展させるため、今後どのように取り組んでいくのか。

**知事** 県産品の品揃えの充実や本県の旬の美味しい食材を使った料理の提供に力を入れることと併せ、市町村・団体などと協力したイベントの開催や、メディアを積極的に活用した誘客を図るなど、魅力ある店舗づくりに努め、本県の魅力を全国へ発信していく。

**議員** 茨城マルシェの魅力を、新たに銀座にオープンした県のアンテナショップ「茨城マルシェ」をより魅力ある店舗に発展させるため、今後どのように取り組んでいくのか。

**知事** 県産品の品揃えの充実や本県の旬の美味しい食材を使った料理の提供に力を入れることと併せ、市町村・団体などと協力したイベントの開催や、メディアを積極的に活用した誘客を図るなど、魅力ある店舗づくりに努め、本県の魅力を全国へ発信していく。

**議員** 新たに銀座にオープンした県のアンテナショップ「茨城マルシェ」をより魅力ある店舗に発展させるため、今後どのように取り組んでいくのか。

**知事** 県産品の品揃えの充実や本県の旬の美味しい食材を使った料理の提供に力を入れることと併せ、市町村・団体などと協力したイベントの開催や、メディアを積極的に活用した誘客を図るなど、魅力ある店舗づくりに努め、本県の魅力を全国へ発信していく。



新たにオープンした「茨城マルシェ」



議員 横山 忠市  
いばらき自民党 市選出 一括方式

### 霞ヶ浦流域の生活排水対策

**議員** 霞ヶ浦の水質は様々な対策にもかかわらず目に見える改善には至っていない。汚濁の要因の一つであるリンの発生量の約五割は生活排水に由来するが、対策は。生活環境部長 単独処理浄化槽は生活排水全体の汚濁負荷の約五割を占めているため、高度処理型浄化槽などへの転換を働きかける。また、浄化槽設置の住民負担が、個人設置に比べ約四分の一となる「市町村設置型浄化槽」の導入を促進する。

### 農業の六次産業化の推進

**議員** 農業の六次産業化は、原料供給型産業にとどまる農業の閉塞感を打ち破るものとして期待されている。生産から販売まで総合的な戦略が必要だが、県の支援は。農林水産部長 今年度新たに、専門家から販売戦略や経営ノウハウを学ぶ「アグリビジネス講座」を実施している。また、量販店などとの商談会の開催や、六次産業化サポートセンターによる企画から事業化まで一貫した支援を行う。



霞ヶ浦の風物詩である帆引き船



議員 佐藤 光雄  
民主 党 市選出 一括方式

### 水戸北スマートICのフルインター化

**議員** 県北方面の利便性向上のため、水戸北スマートICのフルインター化が求められている。早期実現に向けてどう推進するのか。

**土木部長** 震災の影響により中断していた水戸北スマートIC地区協議会の再開に向け、フルインター化に必要なさらなる検討事項を水戸市と協議している。今後は、二月に協議会を開催し、実施計画書の作成に向け、水戸市とともに、地域活性化に資する整備効果などを検討していく。



フルインター化が望まれる水戸北スマートIC

### 緊急情報メール配信システムの効果的な運用

**議員** 運用開始に向け準備中の緊急情報メール配信システムは、不審者の情報などを迅速に伝達できるので、児童生徒の安全に役立つものと期待している。効果的に運用するためどう取り組むのか。

**教育長** 多くの学校・保護者などに登録してもらえよう、機会を捉え働きかけるとともに、危険に関する情報を有する関係部局との連携や、学校と地域における情報の共有を図っていく。



議員 西野 一  
いばらき自民党 常陸太田市選出 一括方式

### 新エネルギー政策における木質バイオマスの活用

**議員** 現時点での再生可能エネルギーの方向性と、その中で木質バイオマスをどのように捉え、導入の促進を図ろうとしているのか。

**知事** 再生可能エネルギーについては、発電利用だけでなく熱利用も念頭に置きながら、太陽光や風力、バイオマスなどの導入促進を図っていく。木質バイオマスの活用は、林業再生の観点からも大変重要であると考えており、関係団体や事業者などの取り組みをできる限り後押ししていく。

### 橋梁(りょう)の長寿命化

**議員** 県では平成二十一年度に橋梁寿命化修繕計画を策定したが、市町村の策定率は低い。市町村の策定率向上のための対策は。

**土木部長** 県では計画策定のための委員会及び協議会を設置し、意見交換を行うなど市町村の負担軽減を図っており、来年度中に概ね市町村の策定が完了する見込み。今後も協議会を開催するなど市町村の取り組みを引き続き支援する。



計画に基づき修繕中の里美大橋(常陸太田市)

## 県議会を傍聴しませんか

本会議が開かれているときには、傍聴することができます。傍聴を希望される方は、県議会議事堂の傍聴受付で傍聴券を受け取って入場してください。

県民の皆さんが選んだ代表者が、どのようなことをどのように審議しているのかをご覧いただけます。

また、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する日の一週間前までに、県議会事務局へ申し込んでください。

詳細について知りたい方は、県議会議事事務局議事課にお問い合わせください。

### お問い合わせ

電話 029-301-5634  
FAX 029-301-5629

### 質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員はいずれかの質問方式を選択できるようになりました。

- 一括方式 県政課題等の項目すべてを一括して質問し、一括して答弁を求める質問の方式。
- 分割方式 県政課題等の項目ごとに質問を行い、その都度、答弁を求める質問の方式。